

花みづき

第32号 / 2018.4.1

白梅学園大学・短期大学図書館
小平市小川町1-830 TEL.042-346-5626



Memories of the library — 図書館の思い出 —

このたび白梅学園大学・短期大学図書館の館長に就任しました。歴代の館長はどの方も学識の高い方ばかりでしたので、私のような者が務まるのかどうかはなはだ心もとない限りですが、精一杯努力してまいりたいと思います。どうかよろしくお願いたします。

白梅学園大学・短期大学図書館 新館長
子ども学部 発達臨床学科 教授
倉澤 寿之

さて、半世紀ほどの時間を「学校」という場所で過ごしてきた者として、「図書館」は常に身近な存在でした。そうした図書館やそこで読んだ本の思い出を振り返ってみたいと思います。

小中学校では「図書室」でした。この頃読んだ本として今でも記憶に残っているのは、イリーンとセガールによる「人間の歴史」です。たしか、小学校4年生でクラブ活動が始まるのですが、私は「歴史クラブ」というところに入り、その活動の中で読んだのだと思います。人間が道具を使うようになり、また共同作業をするようになったことが、高度な文明の発展をもたらした、というような内容だったと記憶しています。このときに学んだことは今でも人間というものを考える上での基礎になっているように思います。

それから、この頃は探偵物の小説を読むのが大好きでした。特に江戸川乱歩の明智小五郎と少年探偵団の出てくるものです。江戸川乱歩の作品は、もっとおどろおどろしいものや、エロティックなものも多く、この頃読んだものは、子ども向けに再構成されたものだという事は、後で知りました。「怪人二十面相」とか「怪奇・四十面相」といった背表紙の並んだシリーズのある書架の一角が今でも目の奥に焼き付いています。また、同時に図書室の独特の匂いを思い出します。

高校生の頃に出会った本は講談社のブルーバックスシリーズでした。宇宙の

成り立ち、ブラックホール、相対性理論といった話題がこの頃の流行でしたでしょうか。そうした内容を好んで読みました。超精密な望遠鏡を携えて、50光年の彼方に瞬間移動できたら、そこから見た地球上にはブルーバックスを読んでいる自分がいるんでしょうね(建物の中だから見えないよ、というツッコミは置いておきます)。

受験生時代になると、学校の図書室よりは、公共の図書館に行くことが多くなりました。家や学校だと、どうしても気の散ることが周囲に出現しがちなので、受験参考書などを持ち込んで、受験勉強するわけです。閲覧室は、本来図書館の資料を読む場所なのですが、単に静かな空間として利用させてもらっていました。とはいえ、同じ目的で来ている友人に遭遇することも多く、そうなるとうちでも集中して勉強というわけにはいかなるのですが。

大学に入った直後によく通ったのが大学の「外国語センター」という建物でした。LL教室に加えて、ビデオやテープなど外国語教材のライブラリーがあり、自由に視聴が可能でした。当時、第二外国語として選択したドイツ語の勉強が楽しく、毎日のようにここへ通ってはNHKのドイツ語講座の録画などを見ていました。図書館とは別の組織ですが、昨今では「メディアセンター」といった形で図書館機能の中に統合されていることも多い

ので、図書館経験の中に挙げておきます。

大学院生になると、雑誌論文の閲覧、取り寄せを始めとして図書館のお世話になることが増えます。そうした中で特に図書館の印象として残っているのは「研究個室」です。私の所属していた大学の図書館は、当時日本の大学の中で一二を争う規模だったと思いますが、かなり大きな建物で、書架や閲覧室の他に研究個室という小部屋がたくさんありました。大学院生になるとその部屋を借りることができたので、何かまとまった仕事をするときにはよくここに籠もっていました。その頃使い始めた統計分析パッケージSASの出力結果を持ち込んで、多次元尺度法を紹介するレポートを書いていたことを思い出します。

今では、図書館の利用もネット経由での情報検索が主流になっています。白梅の図書館でもここ数年の間ネット経由の文献検索機能の充実を力を入れているようです。そうした時代の図書館の発展に、今度は運営側の立場から関わっていければ幸いに思います。



1階閲覧席では新着図書も紹介。

居場所

子ども学部 家族・地域支援学科
2018 年卒業生
進路決定先
東京都特別区I類(江戸川区・福祉職)
坂口 菜夏



私にとって図書館は大学生活の中で一番利用した場所だったと思います。

小さい頃から本を読むことが好きで、大学生活でもたくさんの本を借りていました。また、レポート課題や卒業論文を作成するための資料を集めるために利用する場所でもありました。しかしそれだけではなく、私にとっては、公務員試験や国家試験の勉強をするための場所として、朝から閉館時間まで利用していました。たぶん学生の中で誰よりも利用していたと思います。そんな私のお気に入りの場所は1階にある一番奥の窓際です。勉強に疲れたら窓の方を見たりして過ごしていました。図書館のゆっくり流れる時間と図書館を利用している人のレポート課題や試験勉強に向かう真剣さの少し緊張感のある空気が私を目の前のことに集中させてくれました。

そんな図書館での思い出は、職員の方の挨拶です。挨拶は基本のことかもしれませんが、朝には「おはようございます」閉館時には「お疲れさまでした」という言葉をもらうと元気をもらっていました。その一言が誰かの応援になると挨拶が持つ力の大きさを実感した瞬間でした。当たり前のことをするということは誰かに大きく影響を与えます。



よく学生が利用している1階奥窓際の席

公務員・採用試験対策本等 ガイドブック 貸出ベスト10 (2017/1/1 ~ 2017/12/31)

順位	回数	書名
1位	12回	試験対策のプロが書いた! 保育士合格テキスト&問題集 2017年版上・下
2位	10回	保育士完全合格テキスト 2017年版上・下 (汐見稔幸監修)
2位	10回	いちばんわかりやすい! 保育士合格テキスト 2017年版上・下
4位	7回	保育士採用試験短期集中マスター専門試験 [2018年度版]
5位	6回	公務員福祉職・心理職の合格知識 第4版
5位	6回	保育士試験完全予想模試 '17年版
5位	6回	地方上級教養試験過去問500 2017年度版
5位	6回	保育士資格・採用試験問題200選 '18年度版
9位	5回	保育士精選過去問題集 2017 (汐見稔幸監修)
9位	5回	京都 3版 (ことりっぶ)

試験対策のための問題集・対策本が多く貸出されています。旅行ガイドブックは、持ち歩きやすい「ことりっぶ」と、詳しい地図付きの「たびまる」の2種類があります。ぜひご活用ください。

図書館が私にとって居場所になったように、きっと他の誰かにとっても居場所になっているんだと思います。だから、図書館では静かにしませんか。図書館では静かにするという当たり前のマナーがあるかと思います。たくさんの方が利用している場所だからこそ、そのマナーを守りませんか。例えば誰かと勉強しているとき、分からないところがあると聞きたくするのはわかります。でも、そんなときは周りに迷惑が掛からない程度の小さな声にするか、別のところで聞きませんか。話し声が聞こえると誰かにとっての居場所でなくなってしまうこともあります。マナーを守り、図書館という場所が誰にとっても居場所になれるように心から願っています。

スポーツを「読む」 ことのススメ

子ども学部子ども学科
准教授
安倍 大輔



2018年は2月に韓国・平昌で冬季五輪、そして6月にはロシアでサッカーのW杯といったスポーツのビッグイベントが開催されます。スポーツ紙やインターネットのニュースで試合の結果や選手のインタビューを読むことも多いと思います。そうした文章を通じて選手のパフォーマンスの素晴らしさや、普段は知ることができない、選手の内面や競技に打ち込む姿を知ることができます。

スポーツは自分たちがするのはもちろん、スタジアムやテレビで応援するといった以外にも、スポーツに関連する書籍を読むことで新しいスポーツの一面を知るといった楽しみ方もあります。そうしたスポーツの政治・経済との関わりや社会的な背景について知ると、スポーツを見る際に新しい視点を得ることができると思います。

例えば、なぜ五輪にはイギリスとして出場するのに、サッカーのW杯ではイギリスではなく、イングランドやスコットランドで出場するのでしょうか。オリンピックの

<安倍先生おすすめ図書>

- 『権力装置としてのスポーツ 帝国日本の国家戦略』
坂上康博著、講談社、1998年（講談社選書メチエ）
- 『越境するスポーツグローバル化とローカリティ』
高津勝・尾崎正峰編、創文企画、2006年
- 『東京オリンピックの社会経済史』
老川慶喜編著、日本経済評論社、2009年
- 『オリンピックと平和 課題と方法』
内海和雄著、不昧堂出版、2012年
- 『運動部活動の教育学入門 歴史とのダイアログ』
神谷拓著、大修館書店、2015年

※図書館に所蔵しています。ぜひご利用ください。

開催前後は世界中で休戦にする「五輪休戦決議」が国連によって出されているのを知っていますか。なぜスペインのFCバルセロナのジュニア部門でプレーしていた久保健英くんは日本に帰国してJリーグのFC東京でプレーすることを選んだのでしょうか。また最近では運動部活動が「ブラック部活」と呼ばれるような、顧問と生徒が長時間、運動部活動に関わっていることによって生じる問題が指摘されています。

スポーツは歴史的に見ると、社会からの影響を受けながら形を変えて今日まで発展してきました。一方、時にはスポーツが社会に影響を与えることもあります。五輪やW杯を観戦する傍らで、こうしたスポーツと社会の関わりについて書かれた本を手にとってみるのはどうでしょうか。私のおすすめする本を何冊か挙げますので、機会があれば読んでみてください。



図書館ホームページの「利用状況照会」で借りている本の確認・予約ができます。

図書館の効能

短期大学 保育科
講師
佐藤 文



振り返ると、部活動に明け暮れてきた中高生時代は、私にとって図書館はなじみのある場所ではありませんでした。しかし大学生になると、自然に足を運ぶことが増え、それにより図書館の効能といえるものを発見することができました。ここではこれまでの体験を通して感じた効能を挙げてみたいと思います。

まず初めは「解決の効能」です。図書館は課題を解決してくれるのももちろん、「分からないこと」を発見できる場所でもあります。大学生になると自分自身で課題を持ち、調べ、それを理解しまとめるという作業が増えます。ご存知のとおり、図書館はあらゆる分野の本や文献が揃った充実した空間であり、大学図書館ともなれば、それらの情報に簡単にアクセスできるのは学生の特権でもあります。また、簡単に他者と繋がれる現代において、静かに一人になれる空間は貴重です。課題に取り組むときには、集中し時間を忘れ没頭できる場所として大変重宝しました。二つ目としては「趣味趣向を豊かにしてくれる効能」があげられます。私は舞踊作品を鑑賞するのが好きでしたが、学生の身では、劇場へ足を運ぶのも簡単ではありませんでした。チケットが高額で観に行けない舞台作品や、他では見れない貴重な映像作品も、図書館には揃っていました！それらを片っ端から鑑賞したのは言うまでもありません。特にモダンダンスやコンテンポラリーダンスにのめり込んでいましたので、当時のヨーロッパ舞踊界をリードする振付家の創作過程が、ドキュメンタリー形式でまとめられた映像作品（なんとまだレーザーディスクの時代でした）を授業の空きコマの時間に、メディアルームで心ゆくまで堪能していました。ついつい、時間を忘れてしまい、ついでに授業のことまで忘れることもあったような…。そんな懺

<佐藤先生おすすめDVD>

- 『アドベンチャーズ・イン・モーション・ピクチャーズ presents チャイコフスキーバレエ「白鳥の湖」』 マシュー・ボーン演出・振付、ワーナーミュージック・ジャパン（販売）、1996年制作
- 『ローザス/ファース』 ティエリー・ドゥ・メイ監督、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル振付、ダゲレオ出版（販売）、2002年制作
- 『"One Flat Thing, reproduced" + Forsythe Interview』 ティエリー・ドゥ・メイ監督、ウィリアム・フォーサイス振付、アルバトロス（販売）、2006年制作

※図書館所蔵DVDもHPより検索できます。

悔を含みつつ、当時のコンテンポラリーダンスの先駆け作品を見ては心を揺さぶられていたことは良い思い出であり、現在へとつながる効能となっています。

効能を何かに例えるなら、図書館は温泉のような効能を得られる場所である、と言うのは飛躍しすぎでしょうか!?. 情報を得たり課題を解決したり、趣味を楽しんだり…、図書館を出たらスッキリとした気持ちになれること、さらに、得られた知識がジワジワと体にしみ込んで効き目を発揮するところなど温泉のようです。お湯には浸かれませんが、自分の目的にはどっぷり浸かれます。

最近では、書店にゆったりとした時間をすごせるカフェが付いていたり、レンタルビデオや映像も購入できたりと便利になり、ついつい出かけてしまいます。本を読む、作品を鑑賞する場所は多彩にありますが、未来・現在・過去が集合し、新しい発見、先端の情報が得られると同時に、歴史の保存場所でもあるということは図書館の重要な機能のひとつです。歴史を学び、時代の流れを読み、皆さんの活動へ発展させてください。ひとりひとりにそれぞれの効能があることを願っています。

新学長から在学生へのメッセージ

～あなたの問いと探究心こそが
図書館を魅力あるものにする～

白梅学園大学 白梅学園短期大学
新学長
近藤 幹生



白梅学園大学・短期大学図書館は、学問研究への入り口といえる。本学では、乳幼児から高齢者までの、人間を対象とする学問分野の研究・教育に力を入れている。保育・教育・心理・福祉などの専門分野の職業をめざす場合、貪欲に学び、専門力の向上に力を入れてほしい。そして、人間として、社会人の土台を形成することを意識してほしい。自律した人間にふさわしい教養、人文科学や自然科学など、幅広い知識や魅力とも出会い、自分なりの人間観、人生観をもちながら社会へ巣立ってほしい。大学・短期大学で学ぶ豊かな「教養の知」こそが、人と人をつなげていく。

みなさんの入学の動機は、さまざまだろう。学びの分野や方向性には多様性がある。学びの途上において、課題に出会った時、「なぜだろうか」「どのような解決の道筋があるのか」と問いをもつことを習慣化し、探究してほしい。そして学生時代にこそ、あらゆる書物を開き、専門的知識・技能を磨いてほしい。その意味で「頭でっかち」は、大賛成である。

もう一つ考えてほしいのは、学生生活においては、誰もが「悩むことがある、失敗し落ち込むこともある」と



<近藤学長おすすめ図書>

- 『モモ 時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語』
ミヒャエル・エンデ作、大島かおり訳、岩波書店、1976年
- 『パリ燃ゆ全4巻』
大佛次郎著、朝日新聞社、1975年（朝日選書）
- 『戦争と平和 全4巻改版』
トルストイ〔著〕、工藤誠一郎訳、新潮社、2005年（新潮文庫）
- 『舟を編む』
三浦しをん著、光文社、2015年（光文社文庫）
- 『人間の歴史』
イリーン、セガール作、岩波書店、1986年（岩波少年文庫）

※図書館では同様のもの（別装丁・出版年）を所蔵しています。ぜひご利用ください。

いうことだ。たとえば「自分は、どう生きるか」「将来、何に向いているのか」「卒論のテーマはどうしたらよいのか」「いったい人間とは何か…」といった迷いや問いをもつことがある。実は、こうした問いと探究心こそが、その後の人生行路において、光や希望を見出すチャンスにつながるのだと思う。仲間たちと、教員と、自由にディスカッションしながら、価値ある学生生活と学問研究の道を、共に、歩いていけたらと思う。

さて、本学の蔵書数は約17万冊である。1万冊を超える国内外の絵本、約700点の紙芝居、広いジャンルの教養図書、視聴覚資料もある。図書館ホームページでは、蔵書検索、新聞記事・電子資料も利用可能である。小規模大学・大学院でありながら、国立大学・総合大学並みのデータベースを、海外版・国内版ともに契約している。そもそも図書館は「図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存し」（図書館法第2条）であり、利用するものには、つねに開かれている。その扉を、遠慮なく、静かに開いてみよう。

<近藤学長 近著一覧>

- 『子どもと社会の未来を拓く保育内容総論 第3版』青踏社、編著 (2018年)
- 『どう変わる？何が課題？現場の視点で新要領・指針を考えあう』ひとなる書房、共編著 (2017年)
- 『保育の哲学3』ななみ書房、共著 (2017年)
- 『改訂版実践につなぐことばと保育』ひとなる書房、共著 (2016年)
- 『保育の哲学2』ななみ書房、共著 (2016年)
- 『保育の哲学1』ななみ書房、共著 (2015年)
- 『保育とは何か』岩波新書、単著 (2014年)

図書館おすすめスポット

学生支援がますます充実!!

1 階 各学年おすすめ本 / 本学教員近刊本・学科のおすすめ本コーナー

■ 1 階 各学年おすすめ本コーナー (ガイドブックコーナー)

図書館 1 階に新しく「各学年おすすめ本コーナー」を設けました。その他に「旅行ガイドブック」や、入門書として在学生におすすめている「ブックレット」もあります。勉強などで困った際に役に立つ資料を幅広く揃えています。また、館内には「貸出・利用ランキング」なども掲示しています。

【大学・短大 1 年生向け】

教養教育、リメディアル教育 (授業の学びなおし)、パソコンやプレゼンテーション、外国語学習。

【大学 2～3 年生向け】

キャリアデザイン、ビジネスマナー、敬語・お礼状の書き方。

【大学 4 年・短大 2 年生向け】

公立保育士・幼稚園教諭、小学校・特別支援学校教諭都道府県別公務員・採用試験対策本。

社会福祉士・介護福祉士、保育士国家試験対策本。過去問題集 など

【内定者・社会人向け】

職場での働き方・意識改革。ビジネスメール・敬語の使い方。



■ 本学教員近刊本、学科のおすすめ本コーナー

図書館入口近くに、本学教員近刊本コーナーがあります。白梅の先生方が執筆・編集された本がまとめて置いていますので、ゼミの先生がどんな研究をしているか一度探してみるのはいかがでしょうか。

また、1 階閲覧席前には各学科教員がおすすめする本があります。在学生向けに読んで欲しいものばかりですので、ぜひ手にとって知識を深めてください。

図書館ホームページでも様々なサービスを提供しています。本学 PC 室、ご自宅のパソコン、スマートフォンからでも蔵書検索が可能です。購入リクエスト、館外データベース利用、各種申請なども Web 上からできますので、ぜひご利用ください。

●●● 図書 (絵本) 貸出ベスト 10 ●●● (2017/1/1 ~ 2017/12/31)

順位	回数	書名
1 位	49 回	どうぞのいす
2 位	33 回	施設で育った子どもたちの語り
3 位	29 回	おおきなかぶ ロシア民話
3 位	29 回	はらぺこあおむし
5 位	26 回	跳びはねる思考 会話のできない自閉症の僕が考えていること
6 位	24 回	ぐりとぐら
6 位	24 回	育ちつづける人達 障害の現実と普通の生活のはざま
8 位	23 回	おおかみと七ひきのこやぎ グリム童話
9 位	21 回	ぐるんぱのようちえん
9 位	21 回	たんぼぼのうたがきこえる

絵本「どうぞのいす」が 3 年連続で一番多い貸出となりました。その他にも保育・施設実習などに関連する絵本や図書が上位にランクイン。また、ランク外ですが紙芝居の貸出も多くなります。利用増に伴い、100 冊ほど追加購入しました。

●●● DVD (ビデオ) 閲覧ベスト 10 ●●● (2017/1/1 ~ 2017/12/31)

順位	回数	書名
1 位	83 回	ファインディングドリー
2 位	80 回	ズートピア
3 位	52 回	恋空
4 位	48 回	リトル・マーメイド
5 位	43 回	美女と野獣
6 位	33 回	インサイド・ヘッド
7 位	30 回	塔の上のラプンツェル
7 位	30 回	アラジン
9 位	28 回	ベイマックス
10 位	26 回	保育士になるためのつまずきのある子への保育 (重症心身障害児施設・肢体不自由児施設)

昨年新規購入した「ファインディングドリー」や「ズートピア」など、新しいアニメがランクイン。他にも保育・教育に関する DVD 教材、子どもや家族などをテーマとしたドラマ・映画作品も定期的に購入しています。貴重な資料もありますので、ぜひご利用ください。



花みづき・図書館についてのご意見・ご感想を図書館までお寄せください。E-mail : library@shiraume.ac.jp

図書館のホームページはこちらから <http://libwww.shiraume.ac.jp/>

